

卓話講師：家里 雷峰 会員

卓話演題：「イニシエーションスピーチ」

宇津救命丸株式会社 会長 宇津善博 様 栃木県高根沢発祥「宇津救命丸創業 428年の歴史」2月19日



宇津救命丸は428年前に栃木県の高根沢で生まれました。救命丸を創った宇津権右衛門は、宇都宮城の典医(殿様の病気をみる専属の医師)でした。1597年、宇都宮家を取り潰しとなり、宇津権右衛門は高根沢(現在の工場地)に移り農業を始め庄屋になりました。庄屋になれた理由としては、宇津家と宇都宮家は遠い親戚であったからだと言われています。ある程度の地位と財力があつたと思われまふ。権右衛門は農業をしながら薬を研究し、救命丸を作つて村の人々の健康のために無料で配布しました。「救命丸=生薬を粉にして丸剤にした薬」その効き目が評判となり、「金匱救命丸」という名前を付けて全国で販売するようになりました。東は青森から西は岡山まで、歩いてお店を周つたと聞いています。お店に薬を置いてもらつて、1年に1度、売れた分だけ回収するスタイルでした。製薬の一番古い記録は1617年(元和3年)です。あくまで本業は農業で、たばこ、味噌、酒の製造も行つていました。救命丸の逸話としては、看病した旅の僧侶から処方を知つたという話も伝わつています。原料はほとんどが国内で採れない高価なものばかりです。粉末にして米粉で練つて丸め、金箔・銀箔でコーティングしていました。その後領主となつた一橋家に救命丸を献上すると、救命丸の名前は一気に広がりまふ。箔には殺菌作用、防湿作用、防既発作用があり、当時の智恵ともいえます。一橋家は将軍を輩出する御三卿の一つ、将来、将軍になるかもしれない子供たちを健康に育てるため、救命丸を飲ませていました。一橋家のお屋敷は江戸にありましたが、救命丸が無くなつたら、すぐに江戸まで届けるように指示されていました。一橋家の旗印を掲げ、江戸の屋敷まで、鬼怒川を下つて1日で届けることができました。救命丸の処方は、一子相伝、長男だけに口伝で伝えられ、長男は「掟」に従い、誠意軒に一人でこもり薬の調合をまふ。

【救命丸の処方はどこから?】権右衛門が宇都宮家に仕えていた時、慶長の役で殿様と一緒に朝鮮に遠征し、救命丸のもとになる処方を持ち帰つたのではないかと考えられます。

【救命丸という名前はどのように付いた?】命を救うという名前は大げさに聞こえますが、まったく薬を飲んだことのない人たちには非常に効果があつたようです。

【当時の救命丸の値段は?】江戸時代一粒が米一俵(約60キロ)と同じ価値だつたそうで、現在の値段で一粒5万円ぐらひしました。

【効能・効果】小児五疳、かんむし、夜泣き、ひきつけ、下痢、消化不良、食欲不振、胃腸虚弱、乳吐きに有効です。

【成分】動物性生薬 麝香 牛黄 羚羊角 牛胆 植物性生薬 人参 黄蓮 甘草 丁子 保存剤などの合成薬は使用していません。

明治時代になると薬事法が制定され、救命丸の処方もオープンになりました。明治44年に「救命丸」で商標登録を出願しましたが、すでに類似品が多数でまわり商標が取れず、代わりに「宇津救命丸」「二人子供」の商標を登録しました。また、当時は小児の健康状態が悪いことを憂ひ、小児の専門薬としました。明治になって子供専用の薬として全国のお店で販売されるようになりました。宇津救命丸は、いまでも全国のお店で買える、日本で一番長く(400年以上)売られている薬です。そして、世界でも珍しい、子供用の薬だけを作っているメーカーでしたが、近年は大人用の薬の販売も始めた次第です。

国際ロータリー第2750地区 地区大会

第2644回第58期第24回

2025年3月1日(土)

2025年3月1日(土)グランドプリンスホテル新高輪

国際館パミールにて、国際ロータリー第2750地区地区大会が開催されました。懇親会では青少年交換生のマルゴーもソーラン節を披露しました。



◆ニコニコ（年間目標 800,000 円）◆

2月26日（水）例会 29,000 円

宇津さん今日は宜しくお願ひします

今日の卓話楽しみです

私、気が弱いんです

秋山会員

竹内会員

白井会員

【季節の挨拶】

勝山会員 幅田会員 坂田会員

町田会員 宮尾会員 泰地会員

小室会員 上柳会員 山田会員

高野会員 相沢会員 山元会員

【早退のお詫び】

小熊会員

■ニコニコ集計■

2024-25 年度 累計金額 629,000 円  
（年間目標 800,000 円）

◆例会出席報告◆

2月26日（水）例会

出席者 24 名 ビジター・ゲスト 4 名

出席率 72.5% 前々回出席率 78.6%

◆例会予定◆

◆3月26日（水）観桜会 18:00

◆3月30日（日）さくらまつり

旗岡八幡宮 11:00-16:40

◆4月2日（水）休会

◆4月9日

米山奨学生 馮天嬌さん

◆4月16日（水）

（株）若松取締役東京港醸造（株）

代表取締役 寺澤善実様

◆4月23日（水）

書道家 秋葉生白様

◆報告事項 お知らせ◆

2025年2月26日例会 会長幹事報告

【会長報告】

■ RLI 卒業証 授与  
相沢 峰 会員

■米山奨学生 フェン テンショウさん  
2月分奨学金授与

【委員会報告他】

東京青年会議所品川区委員会

わんぱく相撲 PR

委員長 出羽桃子様副委員長城戸悠希様

【ビジター・ゲスト】

宇津義博様、出羽桃子様、城戸悠希様、馮天嬌さん

◆日帰り親睦旅行◆ 第 2645 回第 58 期第 25 回例会

3月12日（水）日帰り親睦旅行が開催されました。あいにくの雨模様でしたが、国会議事堂、国立西洋美術館、東京タワーのトップツアーへ参加、芝の豆腐屋うかいにて夕食、会員間の親睦を深めることができました。



参加者：秋山会員・秋山雅子様・幅田会員・小室会長・小室麻里亜様・宮尾会員・小熊会員・白井幹事・渡辺会員・馮天嬌（米山）・マルゴーフアー（青少年交換生）

